

ビルの省エネルギーは「ヒト」「モノ」から「コト」の時代へ

ビルや施設における省エネルギーは、環境負荷低減に重要な役割を担うとともに、コスト削減対策としても多大な効果が期待できます。

一方で、従来のビルエネルギー管理は、専門性の高い人材の登用、ビル使用者全員による自助努力、高効率機器や大型システムの導入といった、「ヒト」と「モノ」だけに頼った手法から脱却できずにいました。こうしたビルエネルギー管理の現場を、革新的に進化させる新しい「コト」——。それが「SeeVAS:シーバス」サービスです。

コト

効果・確実・継続・コスト・最適運用



ヒトとモノをつなぐAIサービス

AIを活用した「シーバス」なら 低コストで確実に、20%を超える エネルギー削減を目指せます

計装エキスパートのきめ細かなサポートと、AIユニットによる中央監視装置の自動管理がシーバスサービスの基本。

AIユニットは、計装エキスパートが作成した設備管理標準を搭載し、それを基に気象情報と現在の外気温湿度情報、設備運転情報、室内環境情報から、最適な運転方法を導きます。そして、中央監視装置と連携し、毎時間1回、人手では管理しきれない設定変更を中央監視装置へ実施します。



計装エキスパート



AIユニット



中央監視装置

気象情報

自動運用

運用データ

出力データは官公庁への提出資料などに活用できます

AIユニットに蓄積される様々な管理データは、簡単にグラフ化が可能。官公庁への提出資料、設備機器の運転効率診断、エネルギー消費の原因分析などに活用できます。



作成できる
グラフの例

- COP推移グラフ
- 外気エンタルピーエネルギー消費量
- エネルギー消費量(原単位)月別推移、年度比較
- エネルギー消費量(原単位)年度別消費量
- 負荷持続曲線
- 省エネ性能(原単位相対値)
- 管理値グラフ(変圧器負荷率、COP)

※SeeVASは商標登録出願中です。

ヒト

柔軟○ 確実× 継続△

人の活用は柔軟な対応ができるが、継続性や最適化に限界があり、人材不足も課題に。

無駄の削減

照明、エアコン、PCモニタOFF、クールビズなど

省エネ診断・改善策の実施

専門コンサルタントによるエネルギー診断
管理会社・設備管理担当者による
システムの高効率運用など



「ヒト」「モノ」の課題を解決するために……

モノ

効果○ コスト× 最適運用△

機器導入は大きな効果が期待できる半面、コストや継続的な運用見直しに課題も。

高効率機器の導入

LED照明、ポンプ用インバータ、熱源機など

大型システムの導入

太陽光発電パネル、緑化、雪室など

